

# みんなのちから・春まるかじりツアー

4月1日(土) ~ 4月5日(火)

IN 国立曽爾青少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設に向けて出発	仲間作りゲーム オリエンテーション	座学「リーダーとは？」 研修①「キャンプファイア」
2日目	研修②「棒焼きパン」 研修③「野外炊飯」	研修④「工作」	研修⑤「ナイトハイク」 研修⑥「キャンプファイア」
3日目	最終確認	まるかじりメンバー合流 レクリエーション	工作
4日目	棒焼きパン 野外炊飯	野外炊飯 グループタイム	キャンドルファイア
5日目	清掃 思い出工作	施設を出発 解散式	

一日目： この5日間でジュニアリーダーとして沢山の研修を経て、実際にグループのリーダーとして頑張ってもらいます。その為にも、前半の2日間半でリーダーとして成長していただきます。公共機関を利用して施設最寄りのバス停までやってきました。雨脚が強くなってきたのでハイキングは中止し、車で施設へ向かいました。昼食後、「ドッチボール」や「しっぽとり」を行い、お互いの緊張をほぐし合い、交流を深めました。その後『他己紹介』を行いました。ペアを作り、みんなへ紹介してもらう為に相手に自身のことを話しました。積極的に行う方もおられれば、なかなか言い出しにくい方もおられました。ペアを紹介する時も何を伝えればいいのか分からない様子も伺えました。次に「カプラ」という積み木を使い、どれだけ高く積めるかをグループごとに競い合いました。何度も行い、その都度話し合いをしていただきました。初めはなかなか話し合いに全員が参加されている雰囲気ではありませんでしたが、話し合いを重ねていくと、徐々にみんなの意識が同じ一点に揃っていきました。続いての『クライミングウォーク』ではよりグループ内での協力を促しました。しかし、こちらから声掛けをするまでもなく、自然とジュニア同士で会話や交流が起っていました。施設へ向かい、施設の使い方の研修をしました。「みんなのちから」ではジュニアリーダーに「ノート」と「ボールペン」を渡し、これから聞くこと、やること、見たこと、自身に糧となることを書いてもらいます。夕食後、『リーダーとは?』を研修しました。各々が思われているリーダー像、必要なものを考えてもらい、ご自身のリーダーとしての指針を定めてもらいました。4日目にキャンプファイアを行うので、それに向けて打ち合わせをしました。お互いの情報を交換し早々と決まってくるグループもあれば難航しているグループもありました。寝る前に、各自一日の振り返りをしてもらいました。今日一日で感じたこと、学んだこと、経験したことを明日にどう活かしていけるかをしっかりと振り返っていただきました。

二日目： 二日目は野外炊飯、工作、キャンプファイアとメインの活動となる研修を行いました。昨日に比べ、気温が下がり、その中で朝から活動を行うので、みんなのモチベーションもなかなか上がりません。朝は『棒焼きパン』作りを行いました。作り方は説明書を渡すのみで、ジュニアリーダー達はそれをメモし、話し合いながら作り始めました。スタートから食べるまでに2時間ほどかかり、気持ちもテンションも下がる一方でした。続けて野外炊飯『チキンカレー』を作りました。パン生地の発酵中に作り方の説明を受け、それをもとに作りました。気持ちが上



がっていないためか一日目に比べグループ内で上手く連携が取れていない様子が伺えました。夜はナイトハイクの意味を感じてもらうために灯りのないところでじっとしてもらい、自然の音や匂い、怖さなどを感じてもらいました。その後はみんなが考えているキャンプファイアの内容をお披露目しました。そうすることで、沢山の改善箇所が出てきました。明日から『春まるかじりツアー』と合流です。今まで受けてきた研修内容を発揮することは出来るのでしょうか？



三日目： みんなのちからの研修としては最終日です。担当の割り振りやキャンプファイア(一日目)の調整をし、各グループのメンバー発表を行いました。この頃から緊張されてきたようでした。外に出て声出しの練習を行いました。実際どれぐらいの声の大ききさで話をすればいいのかを試しました。この時まるかじりメンバーは尼崎からバスで施設へ向かいました。どのようなキャンプになるのかとても楽しみにされている様子が伺えました。それぞれ昼食を済ませ、ついに対面の時です。まるかじりメンバーは元気いっぱいワクワクされていますが、ジュニアリーダーはドキドキのガチガチで、リーダー紹介の時点で震えている方もおられました。グループ発表をし、各グループで自己紹介をした後、レクリエーション大会を行いました。内容は全てジュニアリーダーが考え、大いに盛り上げておられました。グループ担当のジュニアリーダーも自身のグループのメンバーとコミュニケーションを取ろうと、積極的に声かけをされていました。それに応えるようにメンバーも徐々に心を開き、レクリエーション中盤以降は会話も増えていました。生活棟へ向かい、施設の使い方の説明や入浴やシーツの準備の説明を聞き、ジュニアリーダーの指示のもと準備を行いました。初めての食堂での食事では、美味しい料理に笑顔が沢山溢れていました。ジュニアリーダーは配膳時に思ったように動けず困惑されていました。夜プログラムは『名札作り』を行いました。材料は事前にジュニアリーダーが拾っていたので、それをグループで協力して切り分けました。名札はネックレスタイプとバッチタイプを作る事が出来るので、どちらにするか班で決めていただきました。すぐに決まるグループもあれば意見が分かれ、なかなか決まらず話し合われているグループもありました。初日にして、既にグループの特徴が出ています。プログラムを存分に楽しもうとされるまるかじりメンバーとそれに応えようと奔走されるジュニアリーダー、双方の駆け引きはまだ続きます。



四日目： 日中二度の野外炊飯を行います。朝食は『棒焼きパン』です。どのグループも(二日目)上手に生地をつくり、焼き上げていくと、とても美味しそうな匂いがしてきました。美味しそうに焼き上がり、お好みのジャムやマーガリンで食べました。パンを食べ終わるとすぐに昼食作りとなりました。昼食は『チキンカレー』です。「カレー係」、「ご飯係」、「かまど係」の3つに分かれ作業がスタートしました。カレー係は玉ねぎが目にも染み涙を流しながら切り分けておられました。かまど係は薪や新聞紙が湿っており、なかなか火が付かず、煙に燻されながらも一生懸命火を起こしておられました。ごはん係は冷たい水を我慢して米を洗い、水加減を頑張って調整されていました。こうしてみんなの協力で完成したカレーを本当に美味しそうに食べておられました。片付けは、みんなの努力のおかげでキレイに手早く済ませることが出来ました。夕食後は、お楽しみのキャンドルファイアで



す。この時に向けて、ジュニアリーダーは初日から必死に練習を積み重ねてきました。披露する事にかなり緊張されていましたが同時に、楽しみにされている様子も伺えました。ジュニアリーダーが行うレクリエーションをメンバーは心から楽しんでおられました。その勢いに後押しされ、内容も非常に良いものでした。ジュニアリーダーもメンバーも一体となり、とても楽しい時間となりました。夜のジュニアミーティングでは、それぞれが前日に提案した改善を活かし、大きく成長できていることを自覚されている感想を聞くことが出来ました。



五日目： 起床後すぐに身辺整理や片付け、清掃を行いました。大忙しでしたが、キャンプ最終日ということもあり、協力して着々とこなされていました。朝食を済ませ、最後のプログラム『名札作り』を行いました。進行具合はグループごと異なっており、やる事は違いましたが、今までのドタバタから一変、とてもゆっくりした時間を過ごすことが出来、最後のプログラムを有意義に過ごされていました。完成した名札を皆自慢気に付けておられ、今までの頑張りが名札に表れているようでした。名札作りの後、残りの時間をグループごとに過ごしました。最後の食事を食堂で済ませ、荷物を持ち、バスが待っている駐車場まで向かいました。施設を出発し、解散場所の尼崎へ向かいました。尼崎駅で全体解散を行いました。解散時、グループを担当したジュニアリーダー達が一人一人グループメンバーの活動の様子を親御様へ伝えました。親御様もそれを親身に聞いていただきました。「春まるかじりツアー」の解散後、みんなのちからの解散式を行い、ジュニアリーダー一人ずつ今回の感想を述べていただきました。それぞれの感想がこのキャンプの苦しさや辛さ、そして達成感を十分表現されていました。最後に認定バッジを渡し、各解散場所へ向かいました。全員が「またしたい！」と仰ったので、来年のみんなのちからでもまた一つ成長したジュニアリーダーが楽しみです。また会いましょう！！そして、本当にお疲れ様でした。

## <キャンプ総括>

今回のジュニアリーダーは最多の14名でした。リピーターもおられ、経験年数も異なるため、それに応じてリーダーの役割を振り分けました。キャンプ前半において、こちらから「リーダーとは？」を訴え続け、それに対しジュニアリーダー達はひた向きに考え、悩まれていました。日を重ねるごとに気付くところも増え、それを共有する事で、全体にレベルアップへ繋がりました。結果、意識や自信、やる気が高まり意気込みは十分でしたが、「春まるかじりツアー」が始まると、イメージされていた事とは裏腹に、何をやるにも上手くいかず、常に四苦八苦されていました。それでも一歩ずつグループの為に動かれ、成長されていくジュニアリーダーを本当に逞しく感じました。

まるかじりメンバーはキャンプを心から楽しんでいる姿を常に見ることが出来ました。そこには必ずジュニアの姿もあり、まるかじりメンバーが慕っている様子も伺えました。時間と共にジュニアとメンバーの関係性も濃くなり、メンバー同士がジュニアの取り合いをしている時もありました。メンバーの中にはジュニアの存在に憧れている方もおられ、ジュニアの動きを真似したり、率先して手伝ったりしていました。メンバーの中から今後、新しいジュニアが誕生するかも！？と思うと楽しみです。ジュニアとメンバーの関係性が非常に良好で、当初から、ジュニアの事を「リーダー!!」と呼ばれており、それに必死に応えようとするジュニアの姿が見られました。この関係を見ていて、我々も学ぶ事が沢山ありました。ジュニアの関係性の築き上げ方をこれからのリーダー育成に大いに参考にさせていただきます。必死に進もうとされる意思、根性、想いを心から称賛します。こうしてたたき上げられたジュニアリーダーだからこそ、メンバーは憧れ、付いていかれるのだと思います。ジュニアリーダーの皆さんは十分立派なリーダーです。普段の私生活でもリーダーとしての自身の可能性を更に磨き上げていただきたいです。本当にお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。(竹中 哲郎)